



Voice Report



「社業を通じて社会に貢献」を実現するために

健康経営に取り組む「梅田工業株式会社」



代表取締役社長 梅田 英鑑氏

- 代表取締役社長 梅田 英鑑 氏
- 本社所在地 埼玉県行田市持田
- 主な事業内容 精密板金・機械加工
- 従業員数 58名
- **健康経営優良法人 2020 認定**

お客様の信頼を守るためにも、社員が健康で幸せであることが大切だと考えました。

少子化や地方都市での採用の難しさを考えると、今いる社員に健康で生き活きと長く働いてもらいたい。そのような思いの中で健康経営の取り組みを開始し、特に2つの視点に注目しました

①ヘルスリテラシーの向上

健康経営宣言後に最初に行ったのは、社内における健康に関する意識の現状課題の把握でした。健康経営アドバイザーのアクサ生命保険（株）の協力を得て、全社員に行動変容アンケートを実施しました。アンケート結果から自身の健康意識の高い割合は、全国平均の30%を下回る25.7%であり、会社の健康経営への教育機会がなかったことが要因と感じました。そこで当該アンケートのフィードバックを通じて健康意識を高めてもらうための研修を実施。70分の研修では健康経営アドバイザーが講師になり、「こころ、からだ、社会的（お金）」について具体的に学びました。研修後の参加者アンケートでは参加者の約70%にあたる34名が、自身の健康に関して今後取り組みたいことを具体的（禁煙・食事の改善・運動習慣等）に挙げてくれて、健康経営を社内に一気に浸透することに成功しました。また、会社が優先的に取り組むべき改善課題が顕在化でき、何から手を付ければ良いのかが明確になりました。

②適切な働き方実現に向けた取り組み

行動変容アンケートで顕在化した健康を阻害する要因として、長時間労働や業務上のストレスがありました。まず、全社をあげて残業時間の削減によるライフワークバランスの改善に取り組むこととしました。3か月間の時間外労働

時間は平均4.1時間でしたので「15時間の削減」を目標にしました。優先順位をつけて仕事をする、生産効率を上げることを徹底しました。また社員のモチベーションが下がらないように残業減による収入ダウンをカバーするために、担当分の賃金アップを実施し、経費削減を目的とした残業削減ではないことを理解してもらいました。月平均の残業時間は10月度以降4.1時間⇒7.3時間⇒6.1時間とターゲットを上回る成果となっています。

〈適切な働き方実現に向けた諸施策〉

- ・残業削減分のベースアップ
- ・残業時間の人事評価への反映
- ・会議時間の短縮（終了時間の明確化）

今後の展望

弊社は、ここ数年の間様々な「働く環境」の改善に取り組んでおりました。私が働き始めて一番に考えた事は「楽しく笑顔で働きたい！」でした。未だ取り組みの途中ですが、社員皆のライフワークバランス、健康、職場環境を更に向上できる様に「仕事」に集中して「やる時はやる」「遊ぶときは遊ぶ」を実現します。もっともっと笑顔で働ける梅田工業（株）になれる様、今後も健康経営に取り組めます。健康経営認定を受けて、採用募集がすぐ伸びてきました。



問合せ先・担当者